

【京都国立博物館】（計4件）

＜絵画＞（3件）

1 名称	合戦図屏風（かっせんずびょうぶ）	品 質	紙本金地著色
作 者 等	狩野永良筆	員 数	6曲1双
時 代	江戸時代 18世紀	寸 法 等	各縦158.7cm 横357.8cm
作品概要	いずれの合戦を主題とするのかは不明だが、京狩野第6代永良の数少ない大画面作品として貴重。武者絵という主題も永良としては類例がなく珍しい。日本画家川村曼舟の旧蔵品で、かつて祇園祭宵山の屏風祭で公開されていたこともある京都ゆかりの作品である。		
購入金額	12,000,000円		



2 名称	高士観瀑図 附西遊紀行 1帖 （こうしかんぱくず つけたりさいゆうきこう いちじょう）	品 質	紙本著色
作 者 等	青木木米筆	員 数	1幅
時 代	江戸時代 寛政10年（1798）	寸 法 等	縦20.5cm 横11.5cm
作品概要	木米の絵画作品のうち、もっとも早い年記を有する。本図がもと収められていた画帖には月僊や本居宣長らが名を連ねており、その交友関係を知る資料としても貴重である。		
購入金額	9,000,000円		



3 名称	六字経曼荼羅図像断簡（ろくじきょうまんだらずどうだんかん）	品 質	紙本墨画
作 者 等		員 数	1幅
時 代	鎌倉時代 13世紀	寸 法 等	縦64.1cm 横51.7cm
作品概要	六字経法は平安時代後期に日本で発達を遂げた修法で、本図はその本尊画像の図像の断簡。六観音を円相の中に配する真言宗小野流系統の図像で、その中心であった醍醐寺伝来とされる。近代の古美術蒐集家として知られる武藤山治の旧蔵。		
購入金額	7,700,000円		



<漆工>（1件）

4 名称	楼閣山水蒔絵角德利（ろうかくさんすいまきえかくどっくり）	品 質	木製、漆塗、蒔絵
作 者 等		員 数	4本
時 代	江戸時代 17世紀	寸 法 等	（各）縦6.9cm 横7.6cm 高15.5cm
作品概要	神聖ローマ帝国ブラウンシュヴァイク＝ヴォルフエンビュッテル公爵家のアントン・ウルリッヒ（1633-1714）がかつて所蔵した蒔絵の箱入りの6本揃いの角德利の一部と推定される品。同コレクションには2本のみが現存する。箱入りの角瓶セットはVOCが香油や酒などを入れて贈答品とした。瓶はガラスや磁器製が多い。本品は吹きガラスの形状を木製で忠実に模し、縁取り文のなかに楼閣山水図や花鳥図を平蒔絵で表す。17世紀後半に西洋で人気を博した輸出漆器の特徴をよく示すと同時に、グローバル時代に各地の技法で同じ形の高級工芸品が作られたことを物語る。		
購入金額	14,000,000円		

